

「みずべ」の歴史その2 水彩フェスティバル

2000年の初めに誕生した「江東区の水辺に親しむ会」は、3月12日に発足イベントとして「水彩サロン」を開催しました。そして秋には9月2日（土曜日）に第1回水彩フェスティバルを小名木川と横十間川の交差点にあたる小名木川クローバー橋周辺で開催しました。

この橋は1994年に竣工した長さ140.50m、幅12.80mの1径間鋼製箱桁橋ですが、この開通を記念して「ふるさとの川まつり」が江東区の主導で実施されました。川を使って行われた筏レースでは若者たちも熱気が入り、イベントとしても盛り上がりましたが数年中止してしまいました。その後を継ぐ形で水彩フェスティバルは開催され、都電の花電車に倣って、江東区のリバーポートである「こうとうリバー」を花で飾ってフラワーシップが出現しました。当時の写真を眺めると、クローバー橋がつなぐ4か所の川辺でイベントを実施することにしたこと、リバーポートの他、カヌー、東京商船大学の Cutter、和船などの様々な乗船体験も行なわれています。クローバー橋で結ばれた4つの地区がフェスティバルを通じて交流することに目的があったことが伺われます。東京海洋大学の海事普及会は一回目から参加してくださり、今も手旗やロープ教室をしていただいております。このフェスティバルにはほぼ毎回、江東区長がごあいさつに来てくださっています。

このようにして江東区の水辺に親しむ会が主体的に取り組んで始められた水彩フェスティバルも、9月の初旬に開催していたのが下旬になり、土日の二日開催が一日の開催になったりしていますが、今年(2019年)秋に第20回を迎えるまでになりました。(理事：庄司邦昭)



ふるさとの川まつり(筏レース)



室橋前区長の開会のご挨拶



フラワーシップ



会場案内図



東京商船大学海事普及会の学生による手旗教室



Cutter乗船

イベント情報

○水彩サロン秋学期「Deepに迫る 多彩なまち江東」

深川芸者と江東 10月13日(日) 14時～ 講師：紗幸(深川芸者)
 グラスゴーからみた江東 11月17日(日) 14時～ 講師：増田光弘(東京海洋大学准教授)

○リバーフェスタ江東 2020年3月14日、15日予定

○お江戸深川さくらまつり 2020年3月21日より



みずべ Mizube

Vol.35



地域振興課との協働事業を振り返って

ハンザ(旧アクセスディンギー)は江東区にデビューしたのは2011年、東京海洋大学越中島の海王祭での乗船会から始まり2012年芝浦工業大学前棧橋前での豊洲水彩まつり、2013年リバーフェスタ江東一周年記念に参加以来旧中川での恒例の乗船会となりました。

東京夢の島マリナーの協力を得て構内での活動する傍ら江東区の水辺フロント、豊洲5丁目と6丁目間の水面、通称東電堀でのハンザのセーリング活動は長年の夢でした。2017年より豊洲水彩まつりはこの東電堀で開催することになり、翌年2018年に江東区地域振興課と協働事業「身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業」として実現しました。セーリングは

難しい、怖い、海洋スポーツ、お金持ちのプレジャーであるという認識が強く、一般の人が日常的に触れることのない、見えないスポーツでした。その意味で身近な水辺の利用とセーリングの啓発は相容れない活動であり、2018年の地域振興課との協働事業は極めて意義のある事業となりました。

ハンザの設計者クリス・ミッチェル氏も言うとおり、「習うより慣れよ」体感しないと判らないハンザには魅力があると考えます。「Sailing For Everyone」がハンザの合言葉です。「スポーツと人情に熱いまち」江東区のモットーどおり地域振興を図ればよいと考えています。(理事：藤原治郎)



2016年の構想図(イラスト：大江佳子)

2018年の活動

record in 2018

昨年も皆様のご協力で多くの事業を行うことができました。ありがとうございました。
今年も様々なイベントを企画しておりますのでご参加、ご協力よろしくお願いたします。



Spring, Summer

春, 夏

1 第14回お江戸深川さくらまつり

2018年3月～4月に、第14回お江戸深川さくらまつりが開催され、水辺の会では黒船橋袂の櫓下にて休憩所を設け、街の案内所として飲み物も提供しました。



2 身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業

小型ヨット乗船講習会
5月から毎月一回6回にわたり豊洲にて開催しました。多くの参加者があり、都会の中でありながら風を体感し、暑さ、雨も物ともせずにディンギーを楽しみました。
<表紙参照>
また、11月17日東京ガスの協力を得て、ガスで一々に（豊洲）にて「水と緑のフォーラム」を開催しました。



3 水彩サロン春学期

「水辺に係わり、水辺を楽しむ
江東区の水辺とまちづくり」



第1回：5月30日(日)
田中元子「マイパブリックとグランドレベル」
第2回：6月17日(日)
茂手木功「夜の水彩カフェテラス」
第3回：7月15日(日)
庄司邦昭「海外の水辺とまちづくり」

4 明治丸シンポジウム

第17回明治丸シンポジウムは7月16日(月、海の日のための祝日)に東京海洋大学越中島キャンパスの越中島会館講堂で開催されました。今回は明治150年記念事業として文部科学省及び国土交通省の後援をいただき「明治150年を支えた商船教育と明治丸」と題して4名の方による講演が行なわれました。

5 C I Gビジョン推進キャンペーン 「ベランダ緑化」運営委託

平成24年度から始まったベランダ緑化事業は、平成30年度で7年目を迎えた。活動を進めるために最初個人対象の講習会から始まり、マンション単位で、ベランダから敷地へとだんだん進化してきたベランダ緑化。30年度は講演会も実施し、それまで行った緑化活動のアピールをしました。



Autumn, Winter

秋, 冬

6 水彩サロン秋学期

「水辺に係わり、水辺を楽しむ
江東区の水辺とまちづくり」

第1回：9月13日(木) 18時
高浜洋平「水辺が変わると街が変わる」
第2回：10月7日(日) 14時
松川淳子「水辺のまち江東を旅する」
第3回：11月11日(日) 14時
松本拓「川床開きと北浜テラス」

7 第19回水彩フェスティバル

第19回水彩フェスティバルは2018年9月23日(日)に小名木川クローバー橋周辺で行なわれました。水辺の会では、綿あめ、乗船受付、乗船場での飲み物提供などを行ないました。



8 リバーツアー

10月14日(日)「秋の隅田川 水上さんぽ」江東区東大島文化センター主催、水辺の会協力で実施しました。



9 深川和風ハロウィンフェスティバル

11月3日、4日高橋船着場を中心にした、商店街、連合町会、当会で実行委員会を組織し開催。動力船の運航に合わせて船着場にカフェをオープン。船の行き交う川面を眺めながらのんびりと多くの人々がコーヒーを楽しみました。



10 深川の川床による水辺のにぎわい 創出プロジェクト

2019年3月22日 東京都からの助成を受け、本プロジェクトのひとつとして、石島橋のたもとに川床をオープンさせました。川床は美しく咲く桜をひときわ引き立てました。



11 リバーフェスタ江東2019

毎年恒例となった「リバーフェスタ江東」。2019年3月24日(日) 旧中川川の駅周辺で開催しました。最初は太鼓の音とともにカヌー、ディンギー、スカイダックのパレードがくり広げられました。

